

特別会計 86億7,175万円

前年度特別会計当初予算額85億8,872万円
国民健康保険など特定の収入でその支出が賄われるもの。

- 国** 民健康保険特別会計(43億4,945万円)
- 老** 人保健特別会計(143万円)
- 介** 護保険特別会計(27億3,170万円)
- 障** 害者自立支援審査会特別会計(112万円)
- 後** 期高齢者医療保険特別会計(3億9,121万円)
- 簡** 易水道事業特別会計(2億551万円)
- 下** 水道事業特別会計(5億9,506万円)
- 農** 業集落排水事業特別会計(3億5,877万円)
- 漁** 業集落排水事業特別会計(3,276万円)
- 工** 業団地造成事業特別会計(474万円)

企業会計

水道事業など、その仕事自体に収益(使用料など)があり、支出を収益で賄っているもの。

工業用水道事業会計

収益的(収入)4,246万円 (支出)2,568万円
資本的(収入)0万円 (支出)3,076万円

香我美町内企業1社が支払う工業用水道使用料で運営されています。

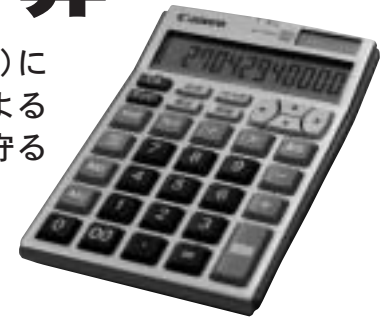
水道事業会計

収益的(収入)4億397万円 (支出)3億7,848万円
資本的(収入)4,243万円 (支出)2億34万円

水道事業経営のために設けられた、独立採算性の会計で収入の大部分は私たちが支払う水道使用料です。

平成22年度当初予算

景気後退により市税収入は対前年度で約3千万円の減額(3年連続)になるなど依然として厳しい状況です。そのような中、職員定数削減による人件費削減や市単独事業費の抑制を図る一方、市民の生活と経済を守る施策を国・県と歩調を合わせながら積極的な予算編成に努めました。



前年度当初予算総額252億6,156万円

平成22年度予算総額は270億4,294万円

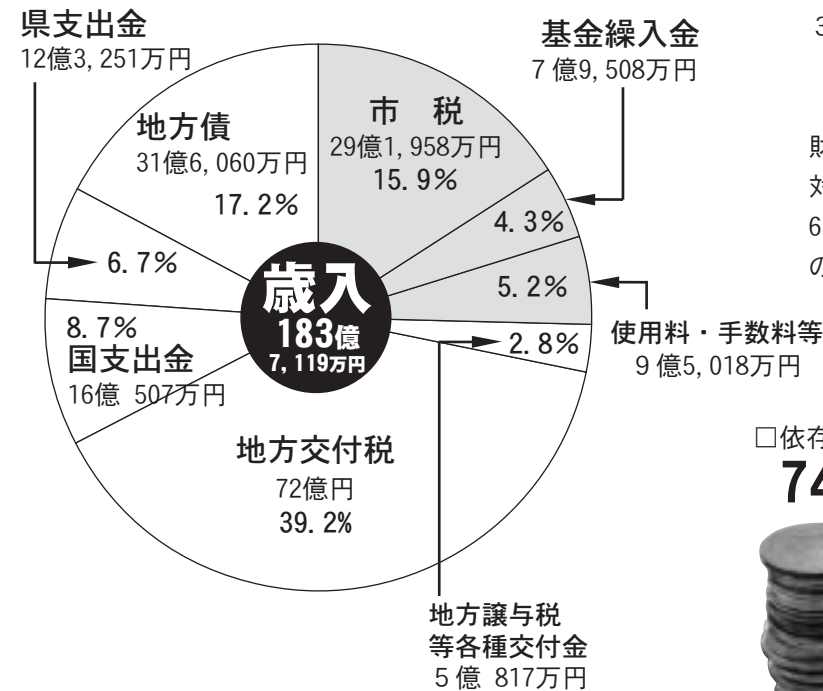
市の仕事は広範囲にわたるため、性質ごとに予算を、一般会計・特別会計・企業会計に分けています。一般会計予算と特別会計予算を合わせた予算総額は270億4,294万円です。一般会計予算では、不足した約7億9,508万円を基金の取り崩しで補いました。また、前年度より約16億9,835万円の増額となっています。

前年度一般会計当初予算額166億7,284万円

183億7,119万円

一般会計…歳入

一般会計…税金や国からの交付金が主な収入で、道路の整備や福祉サービスの提供など、市の基本的な仕事をするもの



性質別のあらし

市税は、景気後退が見込まれる中、香南市においてもさまざまな産業分野の所得が減少し、約3千万円(前年度比0.9%)の減額となっています。

地方債(借り入れた資金)としては、地方一般財源の不足に対処するため発行される臨時財政対策債11億4,760万円、市道の整備費などに15億6,270万円、合併振興基金造成事業(貯金)のための借り入れは、4億5,030万円となっています。

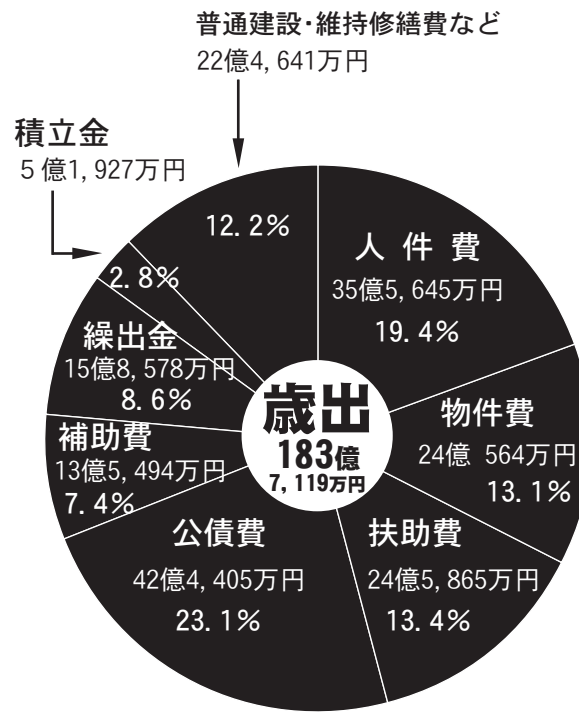
□依存財源…地方交付税や地方債など、国などの決定に基づいて交付されるお金
74.6%

□自主財源…市税など市が自主的に確保できるお金
25.4%



一般会計…歳出

一般会計



性質別のあらし

◆**人件費**…職員数は10人減少により、昨年に比べ6千881万円(1.9%)の減額となりました。

◆**公債費**…昨年に比べ3千5百32万円(0.8%)の減額となりました。これは、通常償還分3億7千3百17万円の減額と、借金を繰上償還する償還分3億3千7百85万円が増額となったためです。

◆**普通建設事業**…昨年に比べ9億7千1百20万円(82.5%)の増額となりました。これは今年度、大型事業(消防庁舎建設・保育所施設整備・佐古小児童クラブ施設整備・横井地区排水機場建設など)の予算計上を行ったためです。

◆**扶助費**…昨年に比べ5億8千8百58万円(31.5%)の増額となりました。これは、新設された子ども手当費などによるものです。

◆**積立金**…昨年に比べ1億5千1百73万円(22.6%)の減額となりました。これは、3年計画で積み立てる庁舎建設基金の積立期間が終了したためです。

- ※人件費…議員報酬や職員の給料など
- ※物件費…選挙や戸籍・防災・交通安全・統計・市の庁舎管理など
- ※扶助費…生活保護費や医療費、子ども手当など
- ※公債費…市債の返済のための経費
- ※補助費…一部事務組合・各種団体への負担金や補助金
- ※繰出金…特別会計への繰出金
- ※積立金…基金の積み立て
- ※普通建設・維持修繕費…市道や建物の整備・建設

地方債(借金)の残高推移

平成19年度決算額	381億1,769万円
平成20年度決算額	357億3,269万円
平成21年度見込額	351億940万円
平成22年度見込額	339億3,316万円

※事業の見直しや、借金の繰上償還により借金残高は、年々減少する見込みとなっています